

1. 科目名 (単位数)	肢体不自由教育総論 (2単位)		3. 科目番号	SSMP2454 SNMP2454 SCMP2454 SBMP2454						
2. 授業担当教員	工藤傑史									
4. 授業形態	講義・演習・ディスカッション	5. 開講学期	春期							
6. 履修条件・他科目との関係										
7. 講義概要	<p>近年、肢体不自由特別支援学校では重複障害や合併症を伴う児童・生徒が増える一方、知的障害を主たる対象とする特別支援学校や視覚障害や聴覚障害を専門とする特別支援学校、病弱特別支援学校においても、肢体不自由を合併する児童生徒が増えている。また、医療的ケアを必要とする重症心身障害児が学校に通ってくるケースも増加するなど、肢体不自由教育の教育課程編成はより一層複雑かつ創意工夫が必要になっている。さらに、インクルーシブ教育の理念の広がりにより、地域の小中学校に肢体不自由のある子どもが入学するケースも増加するなど、その必要性は、様々な場所に広がっている。</p> <p>このような現状をふまえながら、家庭・地域ならびに医療や福祉の関係機関と連携した教育的支援のあり方について、実際の講義を進めていきたい。</p>									
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 肢体不自由教育についての概要を理解し、基礎から発展的に説明できるようになる。</li> <li>2. 肢体不自由教育の現状と課題について理解し、基礎から発展的に説明できるようになる。</li> <li>3. 肢体不自由教育の場、教育課程についての知識を、基礎から発展的に身に付ける。</li> <li>4. 日常生活における家族や医療機関等との連携の実際がわかる。</li> </ol>									
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	適宜、ワークシート、レポート等を実施いたします。									
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】川間健之介 長沼俊夫『新版 肢体不自由児の教育』一般財団法人 放送大学教育振興会、2023。 *その他、配布資料を用いて授業を進めていく。									
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 肢体不自由教育についての概要を理解し、基礎から発展的に説明できたか。</li> <li>2. 肢体不自由教育の現状と課題について理解し、基礎から発展的に説明できたか。</li> <li>3. 肢体不自由教育の場、教育課程についての知識が、基礎から発展的に身についたか。</li> <li>4. 日常生活における家族や医療機関との連携の実際がイメージできたか。</li> <li>5. 主体的な発言・取組をし、協調性を発揮して授業に参加できたか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>以下を総合的に検討し、判断する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業への積極的参加</td> <td>総合点の50%</td> </tr> <tr> <td>2 レポート</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>3 期末試験</td> <td>総合点の30%</td> </tr> </table> <p>*なお、本学規定の「3/4以上の出席」が単位修得の条件であることも判断規準となる。</p>				1 授業への積極的参加	総合点の50%	2 レポート	総合点の20%	3 期末試験	総合点の30%
1 授業への積極的参加	総合点の50%									
2 レポート	総合点の20%									
3 期末試験	総合点の30%									
12. 受講生へのメッセージ	日本型インクルーシブ教育システムの構築が進む中、肢体不自由のある幼児児童生徒の教育の場も広がりを見せています。本講義を通じて肢体不自由教育の正しい知識を身に付け、多様な学びの場で活かしていただきたいと思います。									
13. オフィスアワー	講義開始時間の前後									
14. 授業展開及び授業内容										
講義日程	授業内容	学習課題								
第1回	オリエンテーション、肢体不自由教育の実際 ―特別支援学校を中心に―	事前学習	教科書 第1章 p9-16を読み、肢体不自由児の学ぶ場について要点をまとめる。							
		事後学習	第1回の学習内容を再確認し、説明できるようにする。							
第2回	肢体不自由教育の歴史と現状	事前学習	教科書 第2章 p17-32を読み、肢体不自由の定義や歴史について要点をまとめる。							
		事後学習	第2回の学習内容を再確認し、説明できるようにする。							
第3回	肢体不自由児の生理・病理1 ―運動発達の仕組み―	事前学習	教科書 第3章 p33-53を読み、肢体不自由の運動発達のメカニズムについて要点をまとめる。							
		事後学習	第3回の学習内容を再確認し、説明できるようにする。							
第4回	肢体不自由児の生理・病理2 ―肢体不自由をもたらす疾患―	事前学習	教科書 第4章 p54-77を読み、肢体不自由教育の対象なる疾患について要点をまとめる。							
		事後学習	第4回の学習内容を再確認し、説明できるようにする。							
第5回	肢体不自由児の心理1 ―発達を中心に―	事前学習	教科書 第5章 p78-92を読み、肢体不自由の様々な側面の発達について要点をまとめる。							
		事後学習	第5回の学習内容を再確認し、説明できるようにする。							

第6回	肢体不自由児の心理 2 -障害特性を中心に-	事前学習	教科書 第6章 p93-102を読み、肢体不自由の障害特性について要点をまとめる。
		事後学習	第6回の学習内容を再確認し、説明できるようにする。
第7回	肢体不自由教育の教育課程	事前学習	教科書 第7章 p103-118を読み、肢体不自由教育の教育課程について要点をまとめる。
		事後学習	第7回の学習内容を再確認し、説明できるようにする。
第8回	自立活動の指導	事前学習	教科書 第8章 p119-133を読み、肢体不自由教育における自立活動について要点をまとめる。
		事後学習	第8回の学習内容を再確認し、説明できるようにする。
第9回	身体の動きの指導	事前学習	教科書 第9章 p134-146を読み、自立活動における身体の動きの指導について要点をまとめる。
		事後学習	第9回の学習内容を再確認し、説明できるようにする。
第10回	コミュニケーションの指導	事前学習	教科書 第10章 p147-159を読み、肢体不自由児のコミュニケーションについて要点をまとめる。
		事後学習	第10回の学習内容を再確認し、説明できるようにする。
第11回	各教科の指導	事前学習	教科書 第11章 p160-174を読み、肢体不自由教育における教科指導について要点をまとめる。
		事後学習	第11回の学習内容を再確認し、説明できるようにする。
第12回	重複障害児の理解	事前学習	教科書 第12章 p175-191を読み、肢体不自由と重複する障害について要点をまとめる。
		事後学習	第12回の学習内容を再確認し、説明できるようにする。
第13回	重複障害児の指導	事前学習	教科書 第13章 p192-204を読み、肢体不自由と重複する場合の指導について要点をまとめる。
		事後学習	第13回の学習内容を再確認し、説明できるようにする。
第14回	キャリア教育と進路指導	事前学習	教科書 第14章 p205-216を読み、肢体不自由教育におけるキャリア教育について要点をまとめる。
		事後学習	第14回の学習内容を再確認し、説明できるようにする。
第15回	新たな取り組みと今後の課題	事前学習	教科書 第15章 p217-240を読み、肢体不自由教育の今後の課題について要点をまとめる。
		事後学習	第15回の学習内容を再確認し、説明できるようにする。